

平成26年度市政懇談会(口之津・加津佐地区)会議録

■期日 10月31日(金) ■場所 加津佐青年・婦人会館 ■参加者 75人

1. 公園、施設整備

【意見】

合併前は各町の特色を生かしてまちづくりをやっていこうということだった。口之津は特に観光面を押していこうと記憶している。

- ① 口之津瀬詰崎の公園に草木が生えているので支所に言ったら予算がないと回答された。
- ② 口之津体育館の照明30個のうち6個が切れており支所に言ったら予算がないと回答された。

【回答】

- ① 建設部長

現地の確認をします。

- ②

(教育次長)

早急に確認して対応します。

(市長)

たしかに合併時、それぞれの町の特徴を生かしていくということでした。その一環として口之津港の再整備をします。1つ1つ取り組んでいきます。

2. 空き家対策、野田浜整備

【意見】

- ① 個人の家の隣の畑の草が伸びて危ないという話があり、市役所で所有者を調べてもらったら女性の方(80歳以上の方)などで複雑だった。火事になるかも知れない。市で対処してもらいたい。
- ② 野田浜の雲仙ロープウェイの敷地を市が買うという話の進捗状況を教えてほしい。去年、下里自治会から護岸工事を出したが進まない。雲仙ロープウェイ問題が解決したら護岸工事も解決するのか。野田浜は松林などがすばらしいので守ってほしい。

【回答】

- ①

(建設部長)

個人の宅地や農地は個人が管理されるべきもので、行政での対応が難しいです。道路だったら対応可能だが、農地や山林、空き家は行政で対応できるルールや制度がないです。

(農業委員会事務局長)

加津佐の農業委員の方と一緒に農業委員会に来ていただければ、お世話をして探します。探しても見つからない場合は農業委員と協議して打開策を見つけたいと思います。

② 企画振興部長

たしかに野田浜の松林の中に雲仙ロープウェイの所有地があり、市で買いたいと考えています。護岸工事は市の所有地になれば進んでいくと思います。

3. 道路、野田浜、防災、材料支給

【意見】

- ① 奥田ため池の取り付け道路の要望の件はどうなったのか。
- ② 野田浜の件は何年も前から言っている。昨年、大潮時、潮が国道まで上がってきた。早くしてもらわないと浜は浸食して無くなってしまう。
- ③ ハザードマップができていますが、避難場所に野田小学校、加津佐農村婦人の家、加津佐小学校が定めてある。一方で加津佐小学校に統合するよう進めている。なんで市は海拔0地点に統合を進めるのか。
- ④ 材料支給を市に頼んだら、農林課から加津佐にはできないと言われた。

【回答】

①

(農林水産部長)

奥田ため池の取り付け道路の話は承知しており、どういった方法がいいか検討中です。ため池の水質は養豚業者が整備し改善しており、緊急性はないと思っています。

(市長)

奥田ため池の道路は私の議員時代、地域の要望があって、農道整備の方向で進んでいたが、よくよく調べたら市道であることがわかり、市道だったら簡単にはいかないということで進んでいません。今後、地域の要望に応える方向で頑張りたいです。

② 農林水産部長

護岸工事について23年度に野田浜の先の方は県に施行してもらいました。ロープウェイ買収の件が解決したら、市と県で連絡をとって進めていきたいです。

③ 総務部長

「避難所」は加津佐に15箇所あり、災害時、自分の住居が壊れて住めない人の利用を想定しています。もう1つが「避難場所」で、地域の高台など災害発生時にまず命を守るために逃げてもらおう場所を設けています。災害の種類によって避難所は変わります。公共施設を避難所に設定しているが、災害によって臨機応変に対応し

たいと考えています。

防災の件で皆さんにお願いです。防災は行政が実施する部分と市民の意識の部分があります。市では自主防災の研修会に1自治会につき5万円の補助金を出しています。当然行政がすべきことはするが、まずは家庭地域で自分を守ることを念頭にしてください。市にご連絡いただければ、担当者が防災について話に行きま

④ 農林水産部長

原材料支給は今年度から地区ごとではなく機械的に先着順で実施しています。ただ、過去に連続で支給している点は考慮して対応しています。今年度すでに1回、支給しておりますので、順番をお待ちください。

4. 不祥事

【意見】

- ①前市長の事件で差し替えは有名だが、執行部が防げなかったのか。2年前、市長は犯罪を犯していた。市長はちゃんとやると言った。さらに最近では旧有家町長時代の賄賂が発覚している。市政への提案箱に提案したが、回答は現在捜査中なので回答できないとの答えだった。議会だよりの小林議員の質問で指名審査委員会の反省をうかがいたいとの質問があり、総務部長が「実態については新聞報道しか知らないが残念に思っている」との答えにあきれた。
- ②新市長に職員の姿勢についてお聞きしたい。私は今回の事件について防災無線で誠意ある説明をするよう、担当課長に電話した。担当課長は当初、今日の夕方、防災無線で放送すると話していたが、結局、自治会配布となった。対応がきわめて後ろ向きではないか。納税者に誠実に対応すべきだ。

【回答】

①

(高田副市長)

これまで市は2人副市長制を採っていましたが、私は途中で公募で入ってきたが、指名審査委員会に入っていませんでした。本来、役所内で起こっていることは共有しているだろうと思うが、縦割りで知らされていなかったため、工事の発注についてはわかりませんでした。今は1人副市長として市政に携わるようになりました。今後は今回のことがないように情報を共有して、市長も正すようにしたいと考えています。

(総務部長)

指名委員会で業者を選定して、市長の決裁後、原課に戻ってくる仕組みでした。結果は管財契約課だけが把握しており、変更部分について委員は知りませんでした。指名委員会で市長の差し替えを想定しておらず、公判中なのでなんとも言えないが権限を悪用したことになり、指名委員会の担当として防げなかったです。今後は入

札制度の改革に取り組んでいく。なお、実態については新聞報道でしか知らなかったです。

② 市長

市の職員は市民の皆さんに対してサービス精神を持ち、公僕の立場で接するべきと考えており、折に触れ、そういう話をしています。市役所の職員も事件も踏まえて、前向きに一生懸命やろうという気持ちでいます。先日、市民の方から職員の対応が良かったと褒めていただいたので、職員にも伝えました。1つ1つの積み重ねが職員の姿勢に繋がると思います。

入札の件は透明性のある入札制度の導入を考えていますが、単純に一般競争入札を導入すると市外の業者に仕事を持っていかれるから、制限付きを考えています。また、市長に決裁が上がってきて不備がある場合は指名審査委員会に差し戻すことや、外部も含めた入札検証委員会を設けるなど改善点を考えています。議会も特別委員会をつくって検討しており、市民の皆さんから理解を得られるような仕組みをつくっていきたいと思います。

5. 交通

【意見】

加津佐、口之津町にとって道路の問題は重要。一定量の雨が降れば交通止めになる事態はあたりまえの市の姿ではない。道路は大動脈で血管が詰まっては成り立たない。雨が降れば迂回して、迂回路も渋滞になる。今まで以上に実現する方向で国や県に働きかけていただきたい。

【回答】

(建設部長)

昭和58年の死亡事故以来、これまで30数年、事業費百十数億かけて取り組んでいます。県も一生懸命やっているが、用地が未解決の部分もあり、十数箇所の法面が未整備です。県からは、安全策を考えて用地の解決に全力を尽くし、雨量のデータを取りながら検討をしていくという回答をいただいています。今後も地元の声を要望していきたいです。

(市長)

今日も振興局と県に要望してきました。来月は上京して国交省と県選出の国会議員にお願いする段取りです。

6. 人口減少

【意見】

人口減少問題は若い人が結婚しないと解決しない。市から結婚を促す方法を考えてほしい。

【回答】市長

今までは農業委員会が農業後継者を対象に婚活事業を実施していたが、今後はすべての人を対象にした支援をするよう検討しています。

7. 福祉サービス

【意見】

障害者の福祉サービスについてお尋ねです。自立支援するための計画相談支援サービスがあります。施設は島原市6カ所、雲仙市4カ所、南島原市5カ所の計15カ所あるが利用率の格差が大きい。サービスを選ぶのは障害者本人の要望で選択をするべきで、市が委託している業者を使うのはどうか。市の支援事業の動向についてお尋ねします。

【回答】福祉保健部長

福祉サービス利用等に関する相談について市で委託料を支払っているのは1施設のみです。以前は計画相談の計画書をつくる必要なく、ただ相談だけということでした。今後、どのようにしていくのか検討していきたいです。サービス計画作成については国で報酬単価が決まっています。